

# 岩見沢市内の人手不足に関するアンケート調査結果 ～人手不足の状況は、コロナ禍前の水準に～

## 1. 調査設計

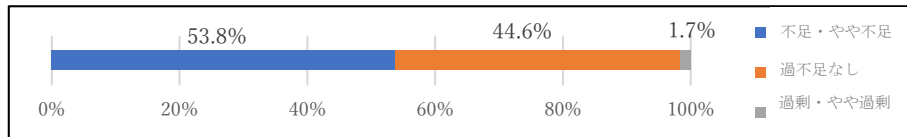
- (1)調査期間 令和5年8月28日～9月15日
- (2)調査目的 新型コロナウイルス5類移行後の経済活動再開による人手不足等の課題について、岩見沢市内企業における状況と課題を調査し、今後の対応策の検討を目的に実施
- (3)調査対象 (回答率) 961社 (岩見沢商工会議所会員) 266社 (27.6%)

## 2. 人手不足の状況

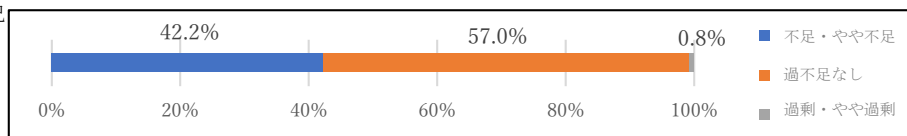
「正規社員が不足している」と回答した企業割合 53.8% (前回調査 H29 52.5%)  
 「非正規社員が不足している」と回答した企業割合 42.2% (前回調査 H29 37.0%)

### (1)従業員の充足状況 ～約半数の事業所が人手不足と回答～

#### ①正規社員の充足状況



#### ②非正規社員の充足状況



### (2)不足業種及び不足職種

区分	不足業種	不足職種
正規社員	運輸業、建設業、卸売業	ドライバー、土木作業員、営業職
非正規社員	宿泊・飲食・生活関連サービス業	飲食物調理職、接客・給仕職

## 3. 人手不足が及ぼす影響 ～需要増加に対応できず、機会損失に～

人手不足による影響	割合
需要の増加に対応できない	28%
技術・ノウハウ伝承の困難化	22%
人件費の増加	14%

#### ■業種別傾向

- (1)建設業は、需要増加に対応できず、機会損失している
- (2)飲食業は、時短営業等の事業運営に支障を与えている

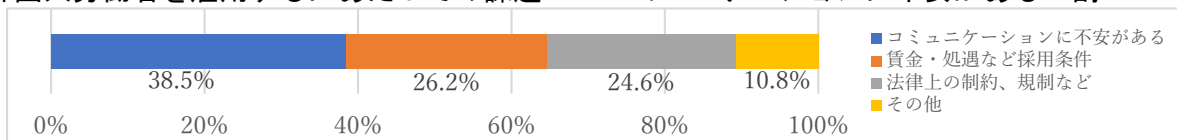
## 4. 人手不足への対応策と課題 ～採用条件改善は資金不足が課題～

対応策	割合	主な課題
採用の拡大	22.5%	応募が少ない、早期離職
賃金などの採用条件改善	18.4%	資金不足
業務効率化の推進	12.3%	ICTによる効率化・指揮実行できる人材の不足

## 5. 外国人労働者の採用状況 ～雇用ニーズはあるが、円滑なコミュニケーションに不安～

- (1)採用済み9事業所、採用を行うつもりが30事業所
- (2)業種別では建設業でのニーズが高まっている

## 6. 外国人労働者を雇用するにあたっての課題 ～コミュニケーションに不安がある4割～



## 7. 商工会議所の今後の対応

- (1)賃金などの処遇改善、福利厚生などの諸制度の整備や拡充、健康経営の推進、長時間労働の是正など魅力的な労働環境づくりの推進をサポート
- (2)企業のイメージアップを図るため、「SDGs」や「パートナーシップ構築宣言」の策定をサポート
- (3)ICTによる業務効率化を図ることができる人材育成を支援
- (4)外国人労働者の受入れや、円滑にコミュニケーションを行える職場づくりの推進をサポート